

～ 緑と水につつまれた健康・教育創生拠点 ～

医療健康及び教育文化創生ゾーン

a) 整備テーマ

高次都市機能が融合する、賑わいと活気のあるゾーンづくり

b) 整備の方向性

- ・ エコメテオカル機能の核となる施設、教育・文化機能について中心的に配置
- ・ 都市機能の集積による多様な来訪者との出会いを通じて、知的な刺激を受ける交流の場を形成する。
- ・ 周辺に立地する複合的な都市機能との連携・交流を促すプラットフォームとして
- ・ 地域拠点の形成を図る。
- ・ 地球拠点としての機能を補完するために、職・住・遊・学が融合する都市空間の形成を図る。

都市型居住ゾーンⅢ

a) 整備テーマ

正雀下水処理場などの機能転換として、吹田操車場跡地整備と一体的に新しいまちの魅力の創出を図るゾーンづくり

b) 整備の方向性

- ・ 隣接する都市型居住ゾーンと連携・補完しながら、良好な都市型居住環境の形成を図る。
- ・ 多様な都市機能が融合し、多様なサービスが享受できる街区形成を目指す。

※正雀下水処理場などの機能廃止などについては、現在関係機関で協議中

緑のふれあい交流ゾーンⅠ・Ⅱ

a) 整備テーマ

心のゆとりを創出する、緑豊かなゾーンづくり

b) 整備の方向性

- ・ 多様な社会への対応として、様々な人々が安心して生活できる開放的で緑豊かな生活空間を形成する。
- ・ 季節とともに豊かな表情を変える自然環境を配置することで、周辺地域の環境と調和した質の高い景観を形成する。
- ・ 来街者と市民の交流による新しい都市活動の創造の場・ふれあいの場を形成する。

都市型居住ゾーンⅠ・Ⅱ

a) 整備テーマ

居住機能を中心とした複合的な機能を有するゾーンづくり

b) 整備の方向性

- ・ 様々な世代の生活ニーズや新しいライフスタイルを支える居住機能をまちの中心的な機能として位置付ける。
- ・ 様々な生活サービスを提供する生活利便機能、周辺を含む地域の人々が集い、自然とのふれあいを感ずる交流機能及び災害時の防災機能などを適切に配置した土地利用を図る。
- ・ 地球環境に配慮した住環境の実現を図る。

